

ふるさと奥尻通信

平成25年10月31日
奥尻町教育委員会発行
事務局:01397-2-3890

海洋研修センターと稲穂ふれあい研修センターにて無料配布しています。奥尻町役場ホームページからもダウンロードできます。

巻頭語

秋の夜長に何するべ？酒飲んで夜更かすするよりかは、読書でもして目がしょぼしょぼしてきたら、バタンと寝るのがいいんでないかい？んだ、そうすべえ。

特集 奥尻の釣り ー磯釣り編ー

今月号は「月刊奥尻の釣り」拡大版です。10月下旬より秋・冬の磯釣りシーズンがスタートしました。日に日に寒さが厳しくなるにつれて、冬魚が磯や港内に入ってきます。寒さと手足の痺れに耐えながら、大物釣りを目指して頑張る季節がやって参りました！昨年、とある島の学芸員は、12月下旬の松江港で、降雪の中ホッケ釣りに没頭するあまり、足の指が凍傷寸前になり、以降、健康を害したとか。無理は禁物です。

奥尻の磯釣りで釣れる代表的な魚種は、6種類あります。ホッケ、アブラコ、カジカ、ソイ、ハチガラ、カレイ。これに、ガヤ、海タナゴがまれに掛かり、ルアー釣りでは、ヒラメ、フクラギ、カンパチ、メバル、サクラマスなどが掛かります。外道として、ギンポ(ガンジ)、フグなどが釣れ、すぐに捨てられます。

魚によって習性や生息地が違いますので、港で釣れる魚もあれば、岩場の磯で釣れる魚もあります。そのため、釣りたい獲物を定めてから、ポイント選びをし、その日の風向きと波の高さやうねりの状況を見て、1~2地点を選定します。同じ場所でも、より釣れる地点があります。



カレイ(上)とホッケ(下) 5月 宮津漁港



アブラコ(アイナメ) 5月 宮津漁港



カジカ 5月



ハチガラ(ムラソイ) 7月 平岩



クロゾイ 5月 西海岸のヘビ岩



サクラマス 3月 無縁島海岸

餌のお話です。針に餌を付けて海中に投げる釣りを”ぶっこみ”と呼びます。ルアー釣りとは違い、一度投げるとさほど竿を動かしません。いわば受け身の釣り方です。のんびり気長に待ちますが、釣れないと”ボウズ”と言って、非常につまらない思いをします。

エサは魚の種類によって変えます。細長いミミズみたいな生き餌である「青イソメ」がもっともポピュラーで、口の小さいカレイ、食欲旺盛なホッケ、どう猛なアブラコ、港に住むソイなどを狙います。

北の釣り場での必需品が「ゴロ」です。これはイカの内臓で、イカをさばいた時に、丸ごと引き出す部分です。これをゲソと離して使います。ゴロは強烈な臭気があるので、撒き餌代わりになり、魚が寄ってきます。軟らかいので、大体の魚は丸呑みするのです。面白いことにゴロを好む魚と、そうではない魚に別れており、狙っていない魚が突然釣れたりするので驚かされます。ゴロでは、カジカ、ハチガラ、クロガシラカレイが良く釣れます。

魚影が薄い場所では、大量の撒き餌をして魚を寄せ集め、エビ、サーモン、マグロといった高級食材を釣り餌にして釣りをする人もいます(島ではその必要はない)。釣り番組でよく釣れるのは、この大量の撒き餌のお陰です。

先日、名古屋からはるばる釣りに来たお客さんがいましたが、向こうではキス釣りがメインなようで、カジカ釣りに興味津々でした。また、無縁島海岸でアブラコをたくさん釣ったそうで、満足顔で帰っていきました。やはり、本州においてアブラコは釣って喜ばれる魚のようです。

